

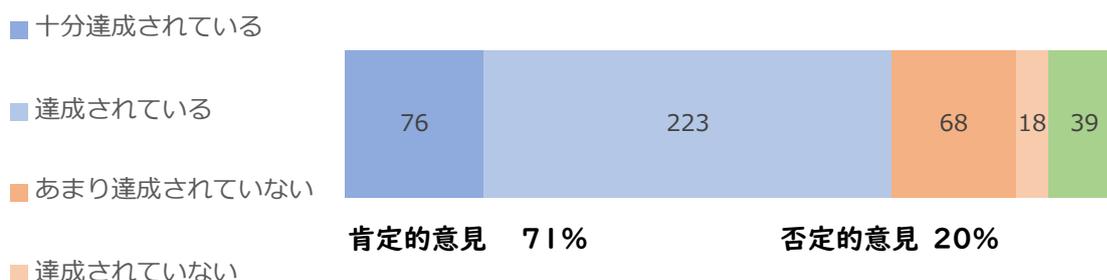
学校評価アンケート結果について

令和5年に実施した本校の教育活動に関するアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。児童数で調査し、424通、57.7%の回答をいただきました。ご多用の中、アンケートへのご協力に感謝いたします。

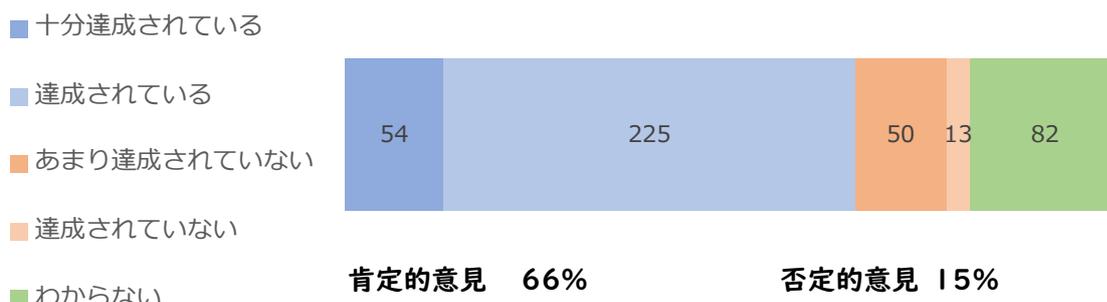
今回ご回答いただいたアンケートをもとに、来年度の本校の教育活動を改善してまいります。なお、質問項目①から⑩は渋谷区共通質問項目で、⑪から⑮は本校独自の質問項目です。

Ⅰ 新たな学びの実現(授業DX)

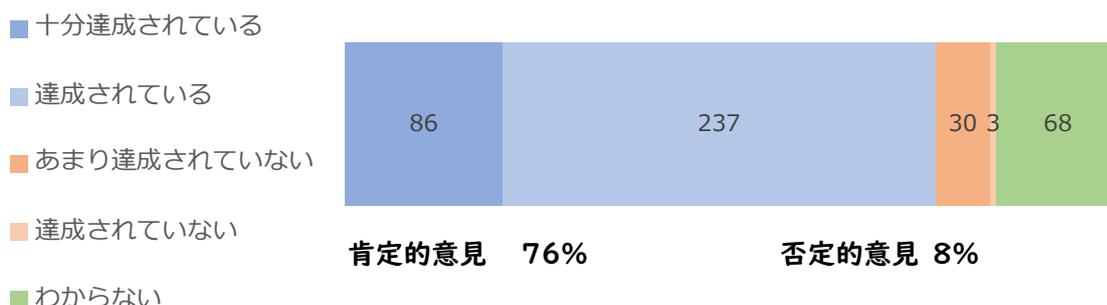
設問1 お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



設問2 学校は、お子さんの進捗や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。



設問3 学校は、子供同士で意見を交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びのある授業を行っていますか。



設問4 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自らの課題を設定して解決の見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



肯定的意見

59%

否定的意見 7%

設問5 学校は、前出の設問1から設問4の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



肯定的意見

62%

否定的意見 18%

【結果】

「子供が学びたいと思っている姿勢を尊重する学級運営に感謝している。」「算数の少人数授業や学習に余裕のある生徒への配慮に感謝している。」「タブレットを使った授業が児童のやる気を伸ばすいい授業だと感じた。」「yomokka!が導入されてから読書量が飛躍的に増えました。」などの肯定的な意見を頂きました。一方で、「タブレットを使用した授業中にゲームや動画の検索が行われており、本来の目的に使われていない。」「授業を聞くことよりもパワポを作ることに一生懸命になっており、タブレットの使い方が有効なのか疑問に思いました。」等のご意見もいただきました。

【今後の対応】

授業DXとは、渋谷区が進める新たな学びの在り方の一つです。デジタル教科書を活用して学び、アプリケーションを活用して児童同士が情報を共有し、学びを広げ、深めていきます。

頂いたご意見を基に今後、教育DXの実現に向けて以下の4点について取り組んでまいります。

○教師主導の授業から、児童主体となる授業づくりにシフトできるよう、さらに取り組んでいきます。

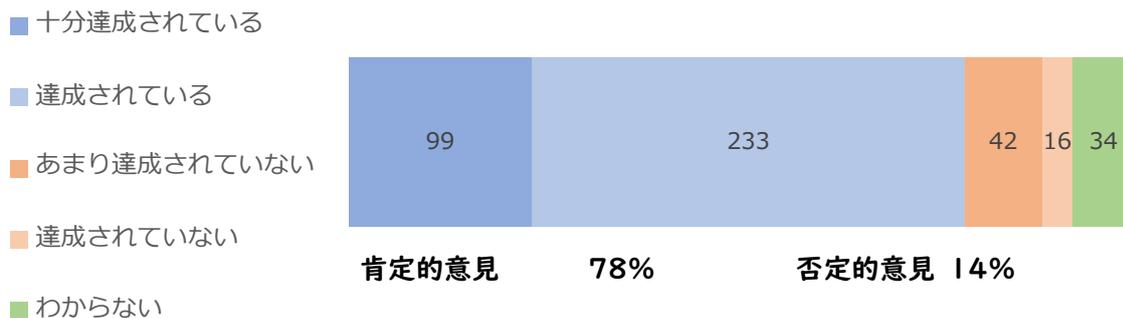
○教師が児童一人一人に合った指導ができるよう、タブレット端末を効果的に活用するための研修を行ってまいります。

○シブヤ科の学習でお子様がどのような課題を設定して学習しているのか、学校公開等を利用して知っていただけるようにしていきます。

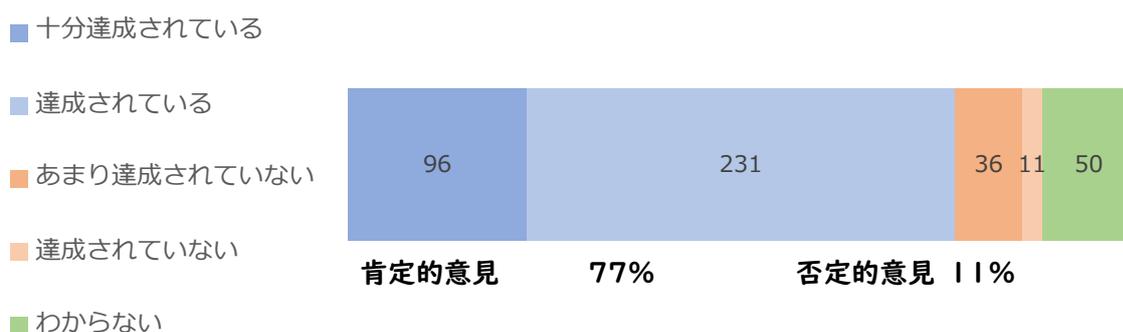
○タブレットの使用について、年度初めに各学級で「幡代よい子のタブレットルール」について確実に指導し、年間を通して効果的にタブレットを使用できるように指導していきます。

2 安心・安全に挑戦できる学校

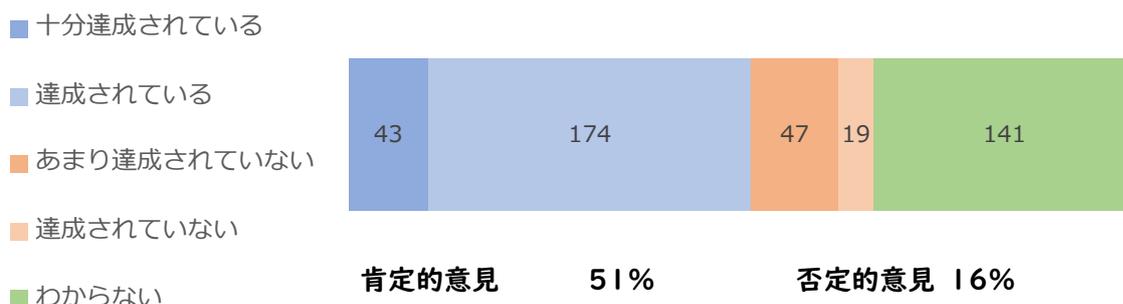
設問6 お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。



設問7 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。



設問8 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。



【結果】

「子どもが『いじめではないか』と親に相談してきた事案に迅速に対応していただけた」、「お友達同士のトラブルなど、先生にご相談すれば直ぐにご対応頂けるのがとても心強く、有難い環境だと感じます。」などの肯定的な意見を頂きました。一方で学級の状況や担任の対応に対してご心配をおかけしている内容もありました。

【今後の対応】

頂いたご意見を基に、今後以下のように取り組んでまいります。

○年度初めの保護者会にて本校の「いじめ防止基本方針」についてお伝えします。

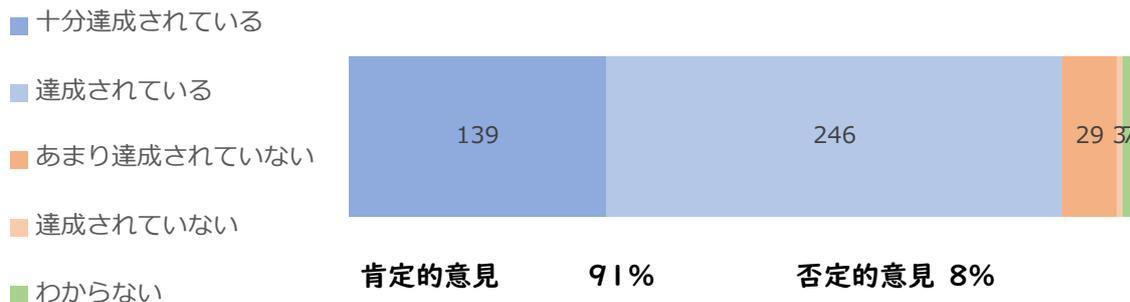
○学級のトラブルに関して日常的に学年団で情報共有し、必要に応じて複数の教員で対応していきます。

また、学年での対応が難しい場合には、学校全体で取り組んでまいります。

※学年団…担任に加え専科教員を含めた5～6名の教員団。

3 校務DXへの取組

設問9 学校は、学校だよりなどの配布物や調査について、学校ホームページやHome&school(ホームアンドスクール)などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。



【結果】

ペーパーレス化の推進については、非常に多くの肯定的意見をいただきました。また、「地域のイベントチラシをデータの配信にしてほしい」というご意見が多く寄せられました。

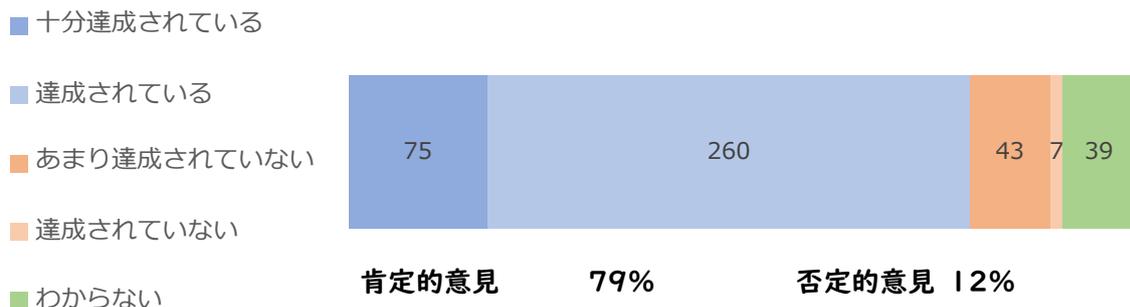
【今後の対応】

○学校からの連絡については引き続き、校長・学年・担任からの連絡はHome&Schoolを基本とし、学校だより・給食の献立・低学年の週予定はペーパーにて配布を基本とします。

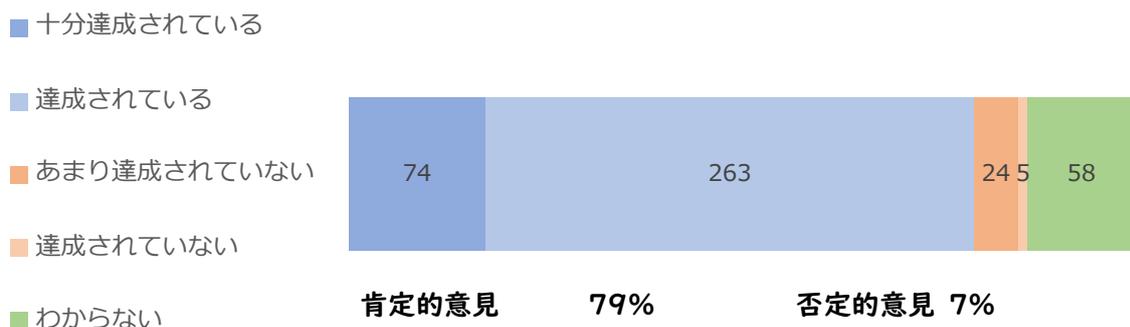
○地域や各種団体からのお知らせは、ペーパーで送られてきた場合にはペーパーでの配布となります。データでのやり取りが可能なものについてはデータで頂けるよう、学校の外にも働きかけていきます。

4 家庭・地域との協働

設問10 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。



設問11 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。



【結果】

「教育方針には大変満足している」というご意見を多数いただきましたが、「コロナ禍のままで消極的」とのご意見も頂きました。

【今後の対応】

今年度は学校公開に関しての人数制限を撤廃、笑顔と学びの体験活動プロジェクト実施（「モグラが三千あつまって」観劇）、これまでの隔年行事である展覧会に加え、新たに音楽会も実施いたしました。次年度も様々な行事を積極的に行ってまいります。頂いたご意見の中に、「くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル」（パレード）の参加を希望される声がありました。現在渋谷区の小学校が半数ずつ、隔年で参加する形をとっており、学校単位で参加の決定が出来ません。そのため次年度は「北渋RunRunフェスタ」での鼓笛発表を考えております。

5 特色のある教育活動

設問12 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



設問13 学校は、デジタル・シティズンシップ※が身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

■ 十分達成されている

■ 達成されている

■ あまり達成されていない

■ 達成されていない

■ わからない



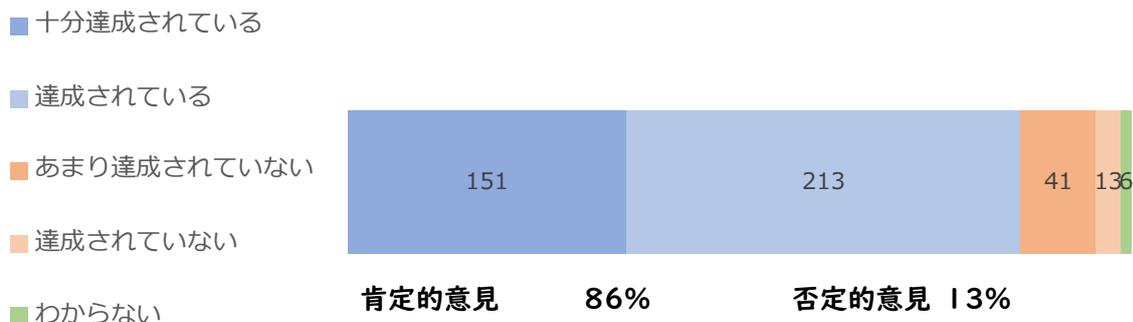
【結果】

教科担任制について「教科担任制によって様々な先生と接点ができ、心強い」等のご意見がある中で、「子どもの特性について合理的配慮がなされているか見え辛い」といった心配の声もありました。タブレットの活用に関しては、「交換機が不足している」「マイクラフトが夜遅くまで出来てしまう」「家庭でのルールを設定してほしい」等のご意見を頂きました。

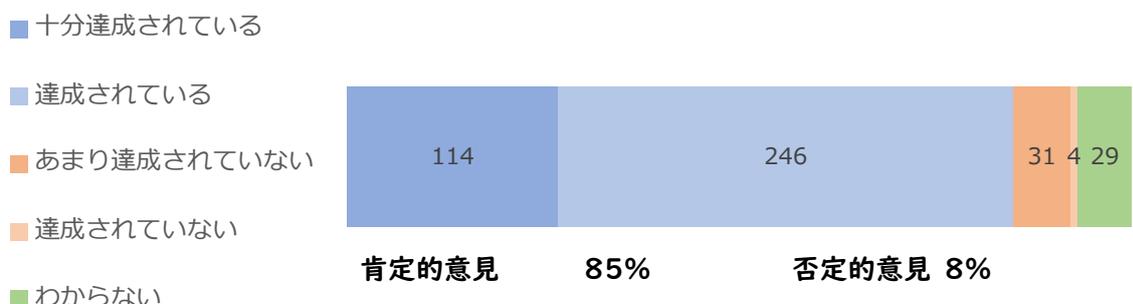
【今後の対応】

○教科担任制に関わる学年団で週一回の情報共有を徹底し、児童の特性に配慮した指導に努めます。
○タブレットを大切に扱う指導を継続すると共に、交換機の充実や利用時間の制限、LTEの不調に関しては渋谷区教育委員会に伝えます。
○ご自宅での使用時間などはご家庭で定めていただいておりますが、適切な使用の仕方について継続的に指導してまいります。

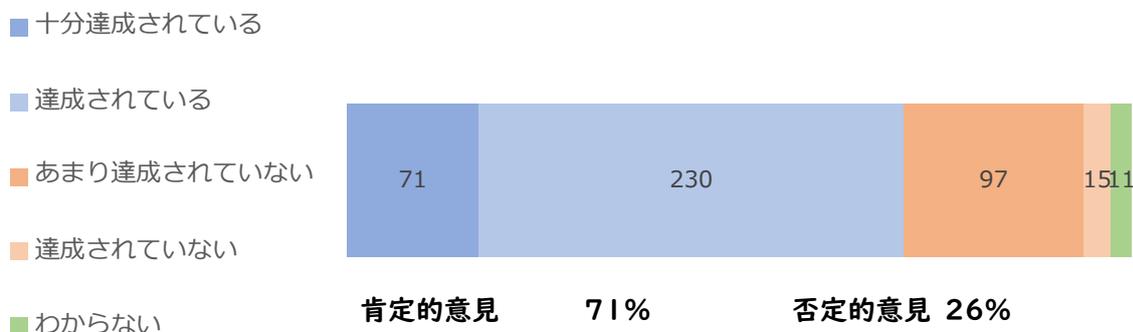
設問14 お子さんは、楽しく学校に通っていますか。



設問15 お子さんは、住んでいる地域や渋谷区への愛着が育っていますか



設問16 ご家庭では、タブレットやスマートホンの使い方やルールについて話し合っていますか。



【結果】

お子さまが「楽しく通えている」、「地域に愛着をもっている」という肯定的な回答を多く頂きました。ただ、「楽しく通えていない」との回答もあり、学校として真摯に受け止めてまいります。

【今後の対応】

○教職員及び児童が良好な関係を築けるよう、細心の注意を払いながら学級づくりを行っていきます。また、教員の指導力向上を目指し、研修を充実させていきます。

○生活アンケートの確実に実施し、日常生活の様子に目を配ることなどとして、いじめの未然防止に努めます。

○不登校への対応は、つばめ教室の利用を継続していきます。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・関係機関と連携し、対応していきます。

まとめ(校長から)

アンケートへのご回答をありがとうございました。昨年と今年の肯定的意見と否定的意見の割合を比べてみると、次の項目で大きな差がありました。

設問 4 「シブヤ科」の推進 肯定的意見 50%→59%

設問 5 タブレットの使用 否定的意見 12%→18%

設問 8 いじめ対応 否定的意見 10%→16%

設問12 学校の特徴 肯定的意見 61%→80%

設問15 渋谷区への愛着 肯定的意見 74%→85%

シブヤ科で5年生は防災について学び、地域防災にかかわる方から話を聞いたり避難所運営訓練に参加したりしました。6年生は初台阿波踊りを盛り上げる活動をしました。下学年でも何回も地域に出て学習しました。こうした学習で設問4や15の肯定的意見が伸びたのだと思います。その他、今年度は新国立劇場での観劇、落語教室、フェンシング教室など本校独自の活動を数多く行いました。つばめ教室も本校の特色です。こうしたことが設問12で肯定的な意見が大きく伸びた理由だと思います。4月からいよいよシブヤ未来科が始まります。今後も地域や企業と連携した学習を積極的に進めていきます。タブレットについては、自由意見でも「書くことも大切にほしい」「ルールを徹底してほしい」「代替機を用意してほしい」などのご意見をいただきました。こうした理由で否定的な意見が増えたと考えます。タブレットをバランスよく利用し、書くことも大切にします。また、SNSのルールや危険性なども含めタブレットの使い方をさらに指導していきます。いじめ対応については「分からない」の回答も多くなっています。いじめへの対応をより明確にしていく必要があります。また、その他の項目でも「分からない」の割合が大きい項目がいくつかあります。教育活動について知っていただけるように、行事や学校公開を工夫して実施するとともに、ホームページやHome&schoolで積極的に学校の様子を発信してまいります。校長日記や宿泊だよりも頑張ります。

落ち着いた学級へのご意見も数多くいただきました。そこには子供だけの問題ではなく、様々な要因が重なっています。学校としても最大限の努力はしているつもりです。今後は何をどのように努力しているのかをより明らかにして、理解と協力を得ていきます。

私は設問の中では、14の「楽しく学校に通っていますか」を最も大切に考えています。昨年と比較し、肯定的な回答は変わりませんでした。否定的な回答は12%と少しだけ減りました。しかし、まだまだです。全員が楽しいと思える学校を目指していきます。

今回の学校評価の結果も踏まえた来年度の計画や具体的な教育活動の変更点については、3月の幡代だよりでお知らせいたします。